



## 日本自転車振興会補助事業 平成17年度事業概要

### (2) 超電導技術の普及啓発・情報提供活動

#### ア．超電導応用技術の普及啓発活動(国際超電導シンポジウム・超電導技術動向報告会)

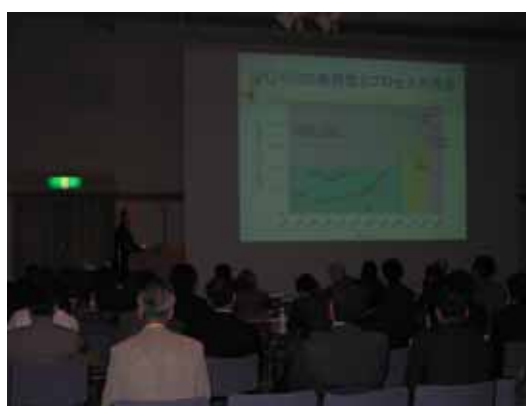
「第18回国際超電導シンポジウム(ISS2005)」を平成17年10月24日から26日の3日間、つくば市で開催した。基礎から応用技術にわたる幅広い分野で、各国の最先端の研究開発成果が報告された。参加者は595名(16ヶ国)となり、海外からも多数の参加者が見られた。発表件数は口頭講演132件、ポスター講演361件の合計493件であった。付設展示会では、企業など10団体が超電導材料、デバイス、装置などの応用製品の展示を行い、多数の参加者に超電導製品の紹介がなされた。

また、「超電導技術動向報告会」を平成17年5月30日に東京で開催し、国内の企業、研究機関、大学、報道関係者などから参加いただき、参加者数は昨年度と同程度の約250名となった。今回は「実用期を迎えた超電導技術」と題して、Y系超電導線材開発、バルク超電導体プロセス、超電導磁気浮上、超電導フライホイール電力貯蔵、超電導SFQデバイス、移動型SQUID、SMES(超電導電力貯蔵)等の超電導応用機器の実用化に向けた研究開発の着実な進捗状況について12件の発表がなされた。

これらの報告内容については、印刷物として「論文概要集(アブストラクト)」及び「超電導技術動向報告会資料」等にまとめ、関係者へ配布した。



ISS2005 講演風景



技術動向報告会講演風景